

令和3年度第2回地域包括支援センター運営協議会

会議方式	書面開催
委員名	山田隆司会長、後藤達彦副会長、高野一委員、山中利仁委員、小林日出世委員、関口由紀子委員、加藤英治委員、長江一鶴代委員、櫻井きよみ委員、篠田征子委員
今回の議題について全委員より承認が得られました。	
【 議題に対するご意見 】	
(1) 令和3年度事業報告について	
・ 活動状況から各地域包括支援センターで目立った格差なく、平準化されてきたと感じる。 ・ どの地域包括支援センターにおいても地域との連携に力を入れていただいていることは評価できる。その一方で、地域に浸透していかないのにはどこに問題があるのだろうか。 ・ 総合相談の中で、虐待件数が多い地区があり気になる。 ・ 困難事例件数にばらつきがあるが、包括と関係機関等との連携体制にも差があるのではないかな。	
(2) 令和4年度事業計画について	
・ 「断らない窓口」の実施を切望する。 ・ 困難事例担当者の配置により、支援体制づくりに期待したい。 ・ 地域ケア会議の推進の中で、民生委員と地域の福祉委員と繋がりがもてる仕組みがあるとよいのではないかな。 ・ 独居の高齢者が増える中、コロナ禍で人のつながりが希薄になったと感じます。孤立死ゼロ/虐待死ゼロを目指し、より一層の地域への働きかけ、関係機関の連携の強化をお願いしたい。	
(3) 介護予防ケアマネジメント業務委託契約事業者について	
意見無し	
(4) その他	
・ 日頃、民生委員からの相談を受けることも多くあり、活発な活動がうかがえる。民生委員ともより連携をした活動を期待したい。 ・ コロナ禍であっても介護予防、認知症予防等、工夫し活動していただけたと思う ・ 福祉の現場の活動は本当に大変です。皆さんの活動で市民は本当に助かっており、感謝申し上げます。 ・ 包括支援の仕事は多種多様で大変だと思います。職員の働きやすさ、健康管理にも留意していただきたい。	